



2024.8.5

No.367

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

和田 英 浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

2024平和行動 in 沖縄 「北海道代表団」を派遣

連合が沖縄の6月23日の「慰霊の日」に合わせて実施した「2024平和行動in沖縄」に、連合北海道は6月21日から25日の5日間、13名の北海道代表団を派遣した。

22日には連合北海道の独自行動として伊江島の平和フィールドワークを行い、伊江島観光バスの山城克己代表に、戦前・戦中・戦後の「沖縄の縮図」と言われる伊江島を案内いただいた。山城代表は「戦後は銃剣とブルドーザーで家は次々と破壊され、土地を奪われた。生きるすべを失った住民は、ついに乞食になることを決意し『乞食行進』を本島で始めた。この闘いが沖縄の『島ぐるみ闘争』の原点となった。島民の力で1970年に米軍基地の41%が開放されたが、今なお35%が米軍用地で占められている」と述べ、「平和運動は宗教・政治などにとらわれることなく、戦争は絶対にダメという純粋な気持ちで取り組んでほしい」と語った。

23日午後からは連合本部主催の「2024平和オキナワ集会」へ参加した。第一部は沖縄国際大学の前泊博盛教授より「再考・日米地位協定」と題した基調講演がされた。第二

部式典で主催者挨拶にたった連合本部清水秀行事務局長は、「沖縄に偏った基地の実態や日米地位協定の問題を含めて、地域住民の皆様との十分な意思疎通を図りながら、国や自治体が説明責任を果たすことが極めて重要である」と強調した。

24日は、フィールドワークとして瀬嵩の浜(辺野古、在日米海兵隊・キャンプシュワブ)、嘉数高台(中部戦跡、在日米海兵隊・普天間飛行場)、嘉手納・普天間基地などを見学し、全国の米軍基地の70%以上が集中している現実を目の当たりにした。

参加者は今回の行動で得たものを今後の産別・地域での運動に活かし、連合北海道としても、戦争がもたらした惨劇と実相を忘れることなく、更に「米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本改定」を求め平和運動を推進していく。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9194>



伊江島フィールドワーク①



伊江島フィールドワーク②



連合本部主催2024平和オキナワ集会



24日のピースフィールドワーク

!!! みんなで賃上げ。
ステージを変えよう!

2024春季生活闘争 7月1日回答集計

連合本部は2024春季生活闘争の第7回(最終)集計を発表した。(以下は抜粋)

平均賃金方式で回答を引き出した5,284組合の「定昇相当込み賃上げ計」は、加重平均で15,281円・5.10%(昨年同時期比4,721円増・1.52ポイント増)、うち300人未満の中小組合3,816組合は11,358円・4.45%(同3,337円増・1.22ポイント増)となった。最終集計まで5%超えを維持したのは33年ぶりである。賃上げ分が明確にわかる3,639組合の「賃上げ分」は10,694円・3.56%、うち中小組合2,357組合は8,256円・3.16%となり、最終

集計で3%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。

連合北海道でも7月1日時点での回答集計を行い、月例賃金(加重平均)は、12,708円・4.51%(同3,999円・1.21ポイント増)の引き上げとなり、同様の集計を始めた2016闘争以降で最も高い数値となっている。なお、連合北海道は8月末に最終集計を行う予定。

詳細はこちらから \

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9212>



「2025年度政府予算に対する要求と提言」 中央省庁への要請実施

連合北海道は7月18日に衆議院第2議員会館にて、「2025年度政府予算に対する要求と提言」を6省庁(農水省・国交省・経産省・文科省・子ども家庭庁・厚労省)に対し手交し、意見交換を実施した。要請行動には須間等会長、和田英浩事務局長、荒木敏安副事務局長、永田重人総合政策局長のほか総合政策局及び政治センター事務局が参加した。

要請前には、この日参集した連合北海道国会議員団(徳永エリ参議、道下大樹衆議、逢坂誠二衆議、松木けんこう衆議、神谷裕衆議、石川香織衆議、山岡達丸衆議、大築紅葉衆議、勝部賢志参議、岸まきこ参議)に対し、須間等会長から要請書を手交し、永田総合政策局長が中央省庁要請の内容、並びに各省庁からの1次回答の内容をもとに説明し意見交換を行った。

各省庁への要請では、冒頭に須間会長から要請書を手交し、道下大樹衆議(国会議員団幹事長)の進行のもと、事前送付された1次回答を踏まえて、永田総合政策局長が意見交換内容の趣旨を説明し、各省庁からは1次回答に記載のない部分の回答を求めた。

逢坂誠二衆議は文科省職員に対し「『教育は国家の

基』である。いま教育の現場は悲惨な状況にある。文科省職員はその状況を確認するために、教育の現場に足を運んでほしい」と檄を飛ばすなど、活発な意見交換が行われた。

意見交換の内容(抜粋)

【農林水産省】

燃油や飼料・肥料の価格高騰の影響を鑑み、飼料のみならず個人経営の農家も含む全ての農家に対する肥料費上昇分を支援する施策の拡充ほか

【国土交通省】

建設業や自動車運転業務の深刻な人手不足対策、グラウンドハンドリング人材など空港業務に対する課題ほか

【経済産業省】

高レベル放射性廃棄物最終処分地選定、再エネ整備の国産化に向けた支援、幌延深地層研究センターに係わる協定・条例の遵守ほか

【文部科学省】

ものづくり教育の確保と就業意識の醸成、教職員の超勤・多忙化対策ほか



国会議員団へ要請書手交



須間会長(右)から要請書手交

【こども家庭庁】

社会的養護に携わる児童指導員等の労働条件の見直し、離婚後「共同親権」導入の課題ほか

【厚生労働省】

「2024年問題」への対策、精神障害における労災認定



厚生労働省との意見交換

の判断基準の見直し、訪問介護の基本報酬の改善及び訪問加算認定の見直しほか

※その他の9省庁へも要請書を提出し、回答を確認中。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9219>



「2025年度政府予算に対する要求と提言」は、①良質な雇用創出と定着②地域産業の振興及び観光の推進③地域公共交通の確保④エネルギー・環境政策⑤社会保障制度⑥防災関連⑦自治体財政⑧消費社会⑨ジェンダー平等⑩教育⑪平和⑫人権など12の大項目からなり、15府省庁への148要望項目で構成している。そのうち、重点要望は11省庁58項目、意見交換項目は6省庁39項目とした。

「2025年度政府予算に対する要求と提言」の全文は、上記の連合北海道HPを参照願います。

「令和6年能登半島地震」 連合被災地救援ボランティアに参加

連合北海道は、連合本部の要請に応じ、能登半島地震被災地救援ボランティア第11クール(6月2日～8日)に、海野淳総務財政局次長、石田敬雅道民運動局次長の2名

を派遣し、連合本部の2名とともに珠洲市(珠洲班)の運営スタッフを担当した。第11クールは、石川県七尾市にベースキャンプ(宿泊地)を置き、珠洲市及び輪島市に



発災から半年



大きな被害を目の当たりに



がれき等の撤去作業



ニーズ調査

各20名のボランティアを派遣した。

活動初日の6月3日午前6時30分頃、能登地方を震源とする地震が発生し、珠洲市と輪島市で最大震度5強、ベースキャンプの七尾市でも震度4が観測され、珠洲市で



激励に駆けつけた芳野友子連合会長

の活動は中止、輪島市についても安全が確認された場所のみでの活動に制限された。参加メンバーに怪我などはなかったが、被災地に来ていることを改めて認識した。

珠洲市での活動は、4日は被災者からの依頼に対応した「がれき等の撤去作業」、5日～6日は「被災者のニーズ調査」として「宝立地区」の全戸訪問を実施、7日は2班に分かれて「ニーズ調査」と「被災家屋からの家財撤去作業」を行った。

輪島市・珠洲市の被害は想定した以上に深刻であり、特に活動した珠洲市では、倒壊したまま手つかずの家屋がまだまだ多く存在し、水道などのライフラインが未だ供給されていない地域も散見され、復旧・復興に向けては相当な時間を要することを強く感じた。連合北海道は被災地の1日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組むとともに、それぞれの立場でできる被災地支援を呼び掛けていく。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9172>



地協・地区連合専従職員研修を5年ぶりに実施

7月11日～12日に地協・地区連合専従職員研修会をガーデンパレス札幌において実施し、全道から15人の職員が参加した。

第1部は「LGBTとSOGIを理解しよう」と題し、映画「カランコエの花」(39分)を鑑賞した。労働組合は「人権の担い手」であり、職場においてすべての人が差別されることなく、安心安全な環境で平等に働くことのできるよう取り組んでいることから、金子ユリ副事務局長を講師に、SOGIに関わる



金子副事務局長



和田事務局長

るアウトティングや生きづらさ、職場での配慮などについて学んだ。

第2部では、連合の中央会費制度への移行について、和田英浩事務局長と荒



参加者の真剣な表情が印象的

木敏安副事務局長から概要を説明。その後は、日頃の組織運営にかかる課題について意見交換を行った。

2日目は、スタッフユニオン書記局との意見交換がなされた。



8月の主な動き

- 8月 1日(木) 18:30 職場の権利教育ネットワーク総会／かでの2・7
- 8月 2日(金) 10:30 北海道に対する「要求と提言」要請書提出／道庁
- 8月 4日～10日 平和行動 in 広島・長崎
- 8月 8日(木) 15:30 北海道労福協理事会／ポールスター札幌
- 8月22日(木) 13:30 連合第11回中央執行委員会／連合会館
- 8月25日(日) 9:30 幌延深地層研究監視連絡会／幌延
- 8月27日(火) 10:00 第12回執行委員会／ポールスター札幌
- 12:30 第1回役員推薦委員会／ポールスター札幌
- 13:00 第11回地協事務局長会議／ポールスター札幌
- 8月29日(木) 18:30 WR検定協会主催ワークルールセミナー／札幌 赤レンガテラス
- 8月31日(土) 13:30 渡島地協ユニオンスクール／函館 渡島地協会議室

イベントカレンダー

